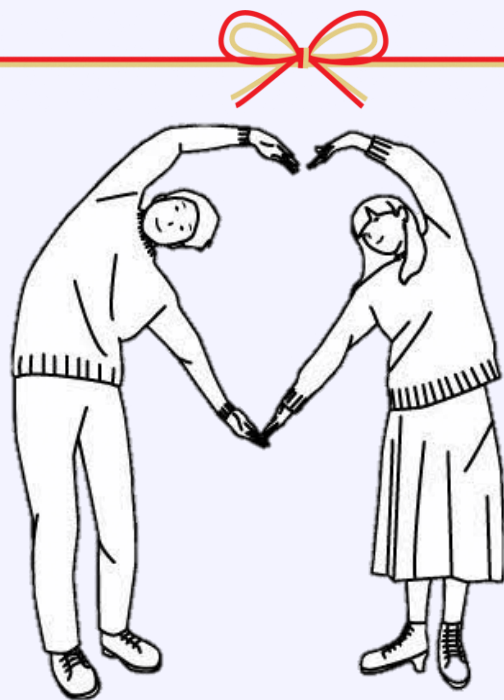


令和7年度NPO活動応援基金 活動実績レポート



皆様に感謝を込めて、
ご支援いただいた
5法人の取り組みを
ご紹介します！



枚方市 市民活動課

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号
電話：072-841-1273（直通）FAX：072-841-5133
電子メール：skatudo@city.hirakata.osaka.jp





令和7年度NPO活動応援基金 補助事業一覧

〈1〉 幼稚園退園後の親子の居場所づくり事業

特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

〈2〉 すこやかサポーター啓発

特定非営利活動法人すこやか地域支援協会

〈3〉 ICTを活用した環境教育事業

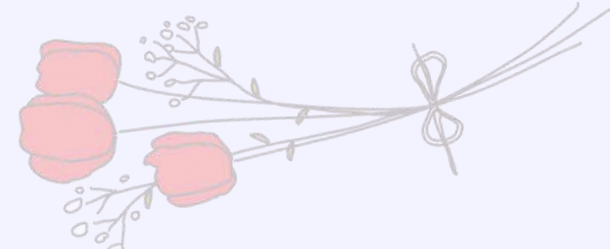
NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

〈4〉 精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）

特定非営利活動法人陽だまりの会

〈5〉 えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業

特定非営利活動法人ハーモニークラブ



幼稚園退園後の 親子の居場所づくり事業



特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

事業内容

幼稚園退園後の子どもとその家族が安心して遊べる居場所として「ブレイクする一む」を開室しました。火曜日と木曜日の週2日開室し、2025年度は86日、延べ586人の親子が利用しました。

利用する親子は、アナログゲームやウクレレ教室、絵本のお話会に参加したり、幼稚園の友達と遊んだり、他のきょうだい児を見守りながら親子で一緒に楽しんだりと様々な過ごし方ができました。

実施日時・場所

実施日時：毎週火曜・木曜の14時30分～17時

実施場所：特定非営利活動法人

えほんのお部屋ひまわり畑

対象者

幼稚園児とその家族



団体登録のきっかけ

法人の活動資金が不足しており、子どもたちや親からの要望が多かった幼稚園退園後の子どもの居場所づくりを推進していくことが難しかったため、申請しました。

事業の成果

親子に寄り添うスタッフの確保と親子が楽しめるゲーム・ウクレレ教室・絵本のお話会・エコラップ体験会などのイベントを実施できました。

お母さん方は、我が子の幼稚園での様子や、今後通う小学校の情報交換など子育ての不安を話し、解消する居場所として利用してもらえました。

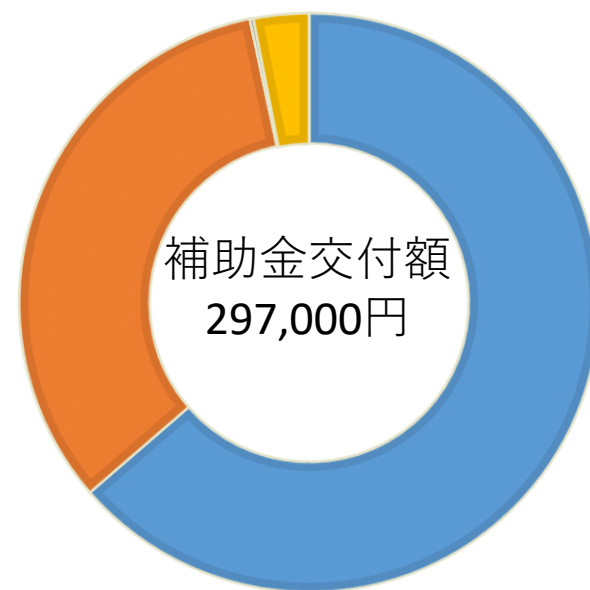
また、地域の高齢者と幼稚園児やその家族がふれあう場所を提供できました。

今後の取り組み

子どもが安心して遊べる場所で、母親がゆっくり、ほっと安心できる場所として利用してもらえる「ママカフェ」や、親子で楽しめるアイシング体験教室を開催し、より親子に寄り添った取り組みを行います。

また、引き続き高齢者のボランティアを募り、多世代の交流が図れるように取り組みます。

補助金の使い道



■ ボランティア謝金 ■ 講師謝金
■ 印刷製本費 ■ 消耗品費

法人の略歴・活動内容

平成18年（2006年）に任意団体として活動を開始。
平成30年（2018年）に法人格を取得。

主な活動場所は、香里ヶ丘にある法人施設など。

子どもと保護者に寄り添い、子育て中にほっとできる場所を提供するため、さまざまな活動を実施。

- 1 親子が集う広場事業
- 2 子育て居場所づくり事業
- 3 一時預かり保育事業 など



法人情報

所在地

〒573-0084
枚方市香里ヶ丘12丁目6-28

代表者

中谷 章代

TEL

090-6739-7064

FAX

072-395-3081

Email

heartnetkids@yahoo.ne.jp

HP

<https://www.himawaribatake0303.com>

Instagram

https://www.instagram.com/ehonno_oheya_himawaribatake



すこやかサポーター啓発



特定非営利活動法人すこやか地域支援協会

事業内容

- ①「認知症」に関する知識の普及・啓発
有識者（オレンジサポーター等）を講師として招き、認知症に関する知識や予防方法、認知症との付き合い方の事例などについて講演していただきました。
- ②「フレイル」についての知識・運動の周知
医療系資格者、機能訓練指導員等を講師として招き、「フレイル」の知識や予防の仕方について講演していただきました。
- ③脳トレや運動の講演
医療系資格者、機能訓練指導員等による実践指導を行いました。

実施日時・場所

- 【第1回】 令和7年7月13日 10時～11時45分
枚方市総合文化芸術センター別館
- 【第2回】 令和7年11月16日 10時～11時45分
枚方市立御殿山生涯学習美術センター
- 【第3回】 令和8年3月15日 10時～11時45分
枚方市立津田生涯学習市民センター

対象者

認知症や介護が必要になりそうな方、その家族や友人
（年齢問わず、参加可能）

団体登録のきっかけ

当法人は、高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らせる地域づくりを目指しています。認知症やフレイルに関する知識の普及や相談先の周知が課題となる一方、住民が専門職から学ぶ機会が不足しているため、継続的な啓発活動を通じて、地域住民の健康増進・介護予防・認知症理解の促進を図ることを目的に、枚方市NPO活動応援基金へ登録しました。

事業の成果

年間の参加者は延べ74名に上り、介護予防の必要性が高い70～80代を中心に、健康づくりや介護予防の情報提供を行うことができました。

参加者アンケートでは、「説明はわかりやすかった」「意識向上につながった」「今後も参加したい」といった高い評価を得ることができました。

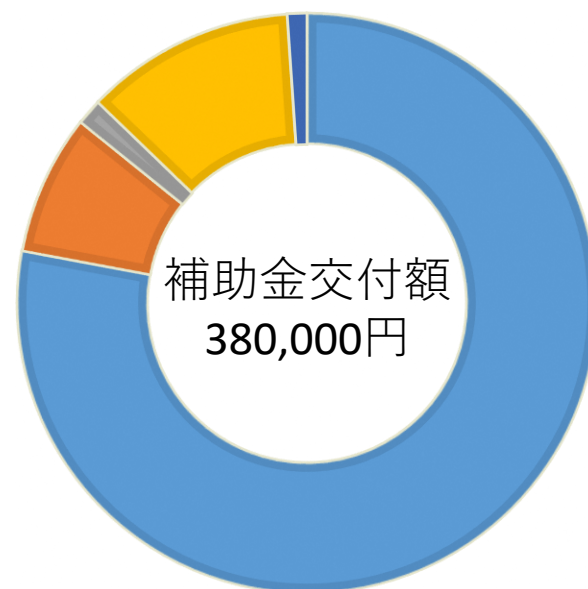
また、早期相談を促す相談窓口の紹介や、多職種連携による地域支援ネットワークの強化にもつながりました。

基金の活用により会場費や広報費を確保し、継続的な啓発活動を実現できました。

今後の取り組み

参加者からの継続開催を望む声に応え、本事業を今後も継続して実施します。次年度は、「認知症予防」「フレイル予防」「運動指導」「脳トレ」に加え、「筋量測定」や「姿勢測定」などの健康チェックを導入し、より実践的な介護予防事業へと発展させます。また、若年者の参加促進にも取り組む予定です。

補助金の使い道



- 人件費
- 謝金
- 会場費
- 印刷製本費
- 雑費・交通費

法人の略歴・活動内容

平成26年（2014年）に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、法人会員の事務所や市内各鍼灸整骨院。

会員や地域市民に対し、高齢者向けの鍼灸・マッサージ施術や、介護予防・スポーツ障害予防のセミナー・相談会、指導者の育成事業などを実施し、高齢社会における市民の健康増進を目指して活動を実施。

- 1 高齢者向け鍼灸マッサージ等の施術を実施
- 2 高齢者介護やスポーツ障がいの予防に関するセミナーや 相談会、教室運営
- 3 介護保険法に基づく第1号事業 など



法人情報

所在地

〒573-0084
枚方市長尾台1-1-12

代表者

鈴木 勝也

TEL

090-8480-0387



ICTを活用した環境教育事業

NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

事業内容

枚方市の身近な生き物や自然、里山や生物多様性保全、外来種問題などの環境教育動画を、枚方高校生物飼育部の高校生や、本法人会員の小～大学生がチームとなって作成し、枚方ビオルネ前大型モニターでの上映や各種SNSでの配信を行いました。

市民の生物多様性保全への意識を高め、行動変容に繋げるため、動画の内容は、特に子どもや生き物の知識が少ない人に向けた分かりやすく、有益なものになるようにしました。

実施日時・場所

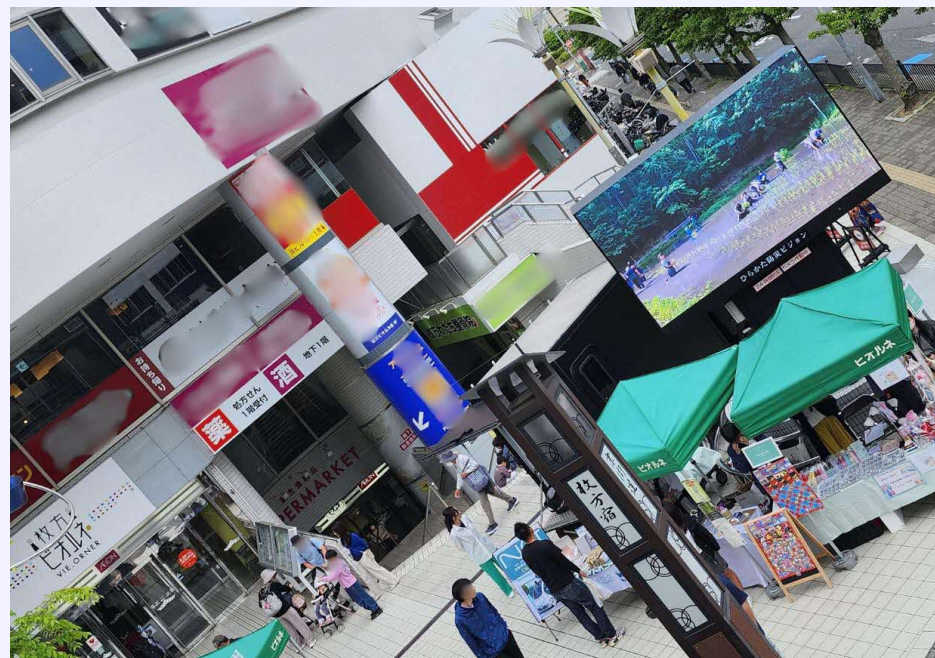
実施日時：令和7年4月～令和8年3月

実施場所：枚方ビオルネ前大型モニター、
Youtube、Instagram、X など
各種SNS

対象者

枚方市民

（特に、子どもや、生き物の知識が少ない方）



団体登録のきっかけ

デジタルサイネージやSNSといった、幅広い方に届きやすいICTツールを用いた動画配信により、枚方市の自然環境や保全活動、それらを取り巻く問題、また特に、枚方市に残る豊かな自然に対する『誇り』について、子どもをはじめ生物や自然に関する知識が少ない市民への普及・啓発を図り、環境意識を高めたいと考え、申請しました。

事業の成果

生活圏が枚方周辺の方を対象にアンケートを実施したところ、**189件**の回答があり、動画視聴者の**78%**が、動画による生き物への興味関心の高まりを示しました（動画を見たことがある」の回答は**13.2%**）。

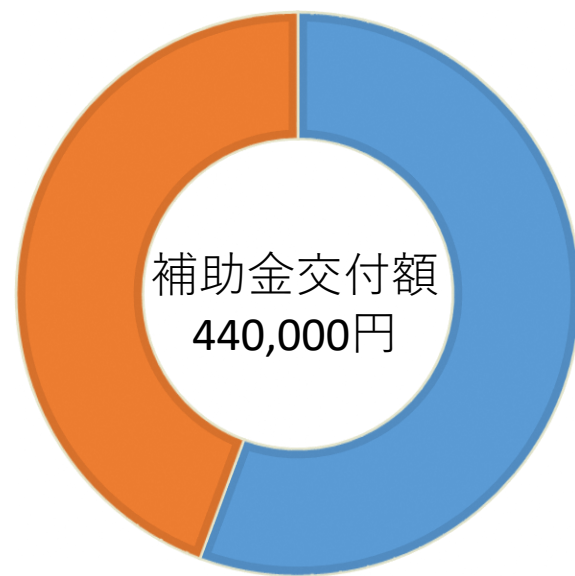
生体展示での説明や講義、合同生物調査等は、質の高い学びを提供できる反面、時間や人員の制限があります。ICT機器を活用することで、より多くの市民へ生物多様性保全について正しく伝えることができたと感じました。

今後の取り組み

動画作成は大変なものの、一度制作すれば多角的に活用できる重要な手法であると実感しています。

現在も動画の放映を継続するとともに、新しい動画のYouTube配信やリサイクルセンターへの動画提供など、多面的なアプローチで枚方の生物多様性を守る取り組みを進めていきます。

補助金の使い道



■ 広告費 ■ 備品購入費

法人の略歴・活動内容

令和3年（2021年）に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市穂谷地区など。

枚方市周辺及び日本全国の自然環境の保全と地域づくりに寄与することを目的に、絶滅危惧種とその生息地(里山)の保全活動をはじめ、生物に関するさまざまな活動を実施。

- 1 絶滅危惧種とその生息地(里山)の保全活動
- 2 生物や自然環境の調査・研究・飼育に関する活動
- 3 生物や自然環境に関する情報収集・展示 など



法人情報

所在地	〒573-1145 黄金野 1 丁目 1 - 6
代表者	石飛 ひなた
TEL	0 9 0 - 3 8 6 6 - 1 5 7 2
Email	hira419labo@gmail.com
H P	https://hira419labo.wixsite.com/hiralabo
Instagram	https://www.instagram.com/hiralabo/
Youtube	https://www.youtube.com/@%E3%81%B2%E3%82%89%E3%81%8B%E3%81%9F%E7%94%9F%E7%89%A9%E9%A3%BC%E8%82%B2%E9%83%A8LABO

精神障害者に関する地域交流事業 (交流会と講演会)



特定非営利活動法人陽だまりの会

事業内容

●地域ふれあいまつり

障害者と地域住民が交流する機会を設け、障害者への理解を深めてもらうことを目的に、障害者の地域活動支援センターや就労継続支援事業（障害者作業所）として運営している当法人の敷地内で、同じ地域の障害者作業所や校区コミュニティ協議会の協力のもと、模擬店等の催しを行いました。

●市民講座

精神障害者が地域で共に暮らすことができる社会の実現に向け、精神障害者への理解を深めることを目的に、講演会やシンポジウムを実施しています。

2025年度は、当事者の話を聞き、ピアサポーター（ピア＝仲間。同じ障害当事者の立場で、仲間の話を聞いたり、自分の経験を語ったりして、支援をおこなう人）について知ってもらうというテーマで、講演会を開催しました。

実施日時・場所

【地域ふれあいまつり】

日時：令和7年11月1日（土）

実施場所：特定非営利活動法人陽だまりの会

【市民講座】

日時：令和8年3月20日（金・祝）

実施場所：ラポールひらかた

対象者

市内在住・在職・在学の
市民など

団体登録のきっかけ

日々の業務や資金的な事情により、法人の目的としている「精神障害者がともに地域で暮らせる社会の実現」を目指すための活動が十分に組み立てていない状況でした。

NPO活動応援基金を活用することで、啓発事業を実施するモチベーションを持つことができるとともに、より多くの市民に参加していただける講演会等を実施できると考え、団体登録を申請しました。

事業の成果

地域ふれあいまつりは、**140人**を超える方の参加があり、精神障害者との交流の機会をもていただくことができました。この取組みはここ数年継続して開催しており、地域で浸透してきたと感じています。

講演会には**70人以上**の方に参加いただき、参加者アンケートの結果から、好評を得られたことが分かりました。ピアサポーターについての理解を深めていただく機会にできたと考えます。

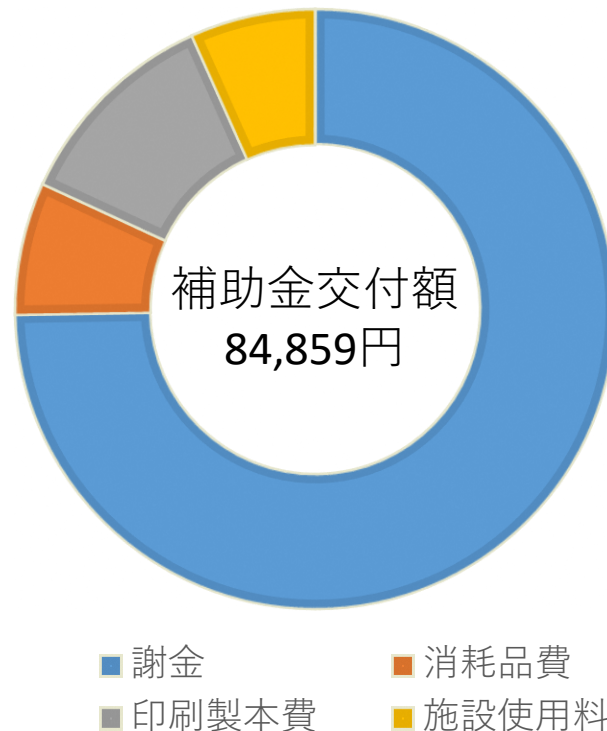
事業を実施することで精神障害者についての理解が少しでも深まる端緒になったと思います。

今後の取り組み

令和8年度も、地域ふれあいまつりや2月にもちつき大会を開催し、より多くの市民との交流の場を設けたいと考えています。

市民講座は、より多くの参加者を募ることができるようなテーマや講師を検討し、隔年で開催したいと考えています。

補助金の使い道



法人の略歴・活動内容

昭和59年（1989年）に任意団体として活動を開始。
平成11年（1999年）に法人格を取得。

主な活動場所は、法人事業所、市内周辺など。

精神障害者の自立と社会参加を推進し、あたりまえに暮らせる社会の実現をめざし、人が人として尊重され、自己実現が可能となる社会の創造に努めることを目的に、さまざまな事業を実施。

- 1 精神障害者についての啓発活動（地域交流事業）
- 2 障害者総合支援法に定める給付事業
- 3 地域生活支援事業 など



法人情報

所在地

〒573-1161
枚方市交北2丁目7-15

代表者

津田 佳積

TEL

072-809-0015

FAX

072-809-0015

Email

npoh@juno.ocn.ne.jp

H P

<https://www.npohidamari.jp/>

Instagram

https://www.instagram.com/hirakata_npohidamari/#

Youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCUg-Hhpe6XZVOic7rKFovQg>



えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業



特定非営利活動法人ハーモニークラブ

事業内容

●えほんライブや体験型活動

えほんライブ（絵本と音楽が一体となったオリジナル作品で、朗読と歌や音楽、映像などを用いたライブ）や、体験型活動（音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び等）を実施し、自己肯定感を育む取り組みを行いました。

●保育サロン

保育や教育についての情報交換、保育現場の課題等について語る場を開催しました。

また、えほんライブや保育コンテンツのレクチャーや新規コンテンツのアイデア収集を行いました。

●えほんライブ体験型コンサート

子どもたちがえほんライブのパフォーマンスができるよう練習指導を行い、コンサートで発表しました。

実施日時・場所

【えほんライブや体験型活動】

- ・親子広場： 年間3回／岡本町会館
- ・イベント： 年間6回／岡本町公園、岡本町会館、三矢会館、菅原小学校、五常小学校
- ・ボランティア体験講座： 令和7年10月18日／ラポールひらかた

【保育サロン】

年間18回／オンライン、枚方市立牧野生涯学習市民センター

【えほんライブ体験型コンサート】

練習ワークショップ(3回)、令和7年8月31日(本番)／枚方市立牧野生涯学習市民センター

対象者

地域の子どもや保護者、保育士などの教育関係者、高齢者など

団体登録のきっかけ

活動資金が不足しており、寄附を募っても集まらない状況が続いていた中で、ふるさと納税を活用した補助金があることを知り、この制度を活用すれば、より多くの方に参加してもらえる形で事業を実施できると思い、申請しました。

事業の成果

基金を活用し、えほんライブ上演や体験型活動等ができたことで、地域の親子、小学生、保育関係者、ボランティアに興味のある一般の方まで幅広く参加していただき、自己肯定感を育む活動ができました。

また、前年度に保育サロンで生まれた保育ソングを取り入れた、新しいえほんライブ「ハーモニーえんのいちにち」が完成し、えほんライブ体験型コンサートに出演した小学生6名がレコーディングに参加して、えほんライブ動画も完成しました。

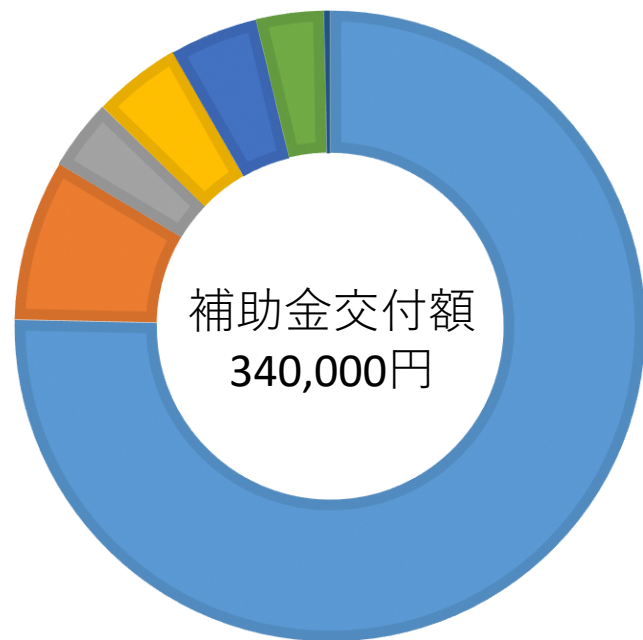
小学生が演じるえほんライブ体験型コンサートを通して、参加した子どもたち一人ひとりが自分らしく表現する喜びを感じ、その後も、レコーディングに参加したり、ハーモニークラブのコンサートにも出演して、生き生きとえほんライブを上演してくれました。

今後の取り組み

令和8年度も本補助金を申請し、えほんライブや体験型活動の実施に補助金を活用する予定です。

ボランティア体験講座や保育サロン、小学生が演じるえほんライブ体験型コンサートも、法人の自己資金を用いて引き続き実施します。

補助金の使い道



- 人件費
- 印刷製本費
- 消耗品費
- 雑費
- 交通費
- 謝礼
- 会議費

法人の略歴・活動内容

平成31年（2019年）に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、市内の保育・教育施設や地域の子どもイベント等での出張公演。

法人オリジナルの作品であるえほんライブや保育サロンを通して、ありのままに生きられるための場づくりを展開し、新たな保育の担い手の応援や保育に役立つオリジナル作品の開発などの活動を実施。

- 1 えほんライブの上演・パフォーマー養成活動
- 2 親子の居場所づくり活動
- 3 人材育成事業 など



法人情報

所在地 〒573-1126
枚方市上島東町14-1 ルファルひらかた社協 5 階

代表者 井上 千晴

T E L 0 8 0 - 4 3 9 3 - 8 2 5 5

Email info@harmony-club.jp

H P <https://harmony-club.jp>

Instagram https://www.instagram.com/harmony_club82/

Youtube <https://www.youtube.com/@npo1441/videos>

B l o g <https://ameblo.jp/harmony-club82/>

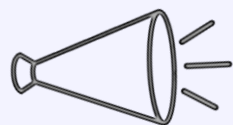
皆さまのご寄附により、
令和7年度の活動が実施できました
引き続き、法人へのご支援やご協力を
よろしくお願いいたします



令和7年度（2025年度）枚方市NPO活動応援基金補助金 交付団体

- ◆ えほんのお部屋ひまわり畑
- ◆ ひらかた生物飼育部LABO
- ◆ ハーモニークラブ
- ◆ すこやか地域支援協会
- ◆ 陽だまりの会

5 団体 / 補助総額：1,541,859円



寄附を募集しています！



本基金の詳細は
こちら



ふるさと納税の
詳細はこちら

